



2025年9月26日

各位

会社名 令和アカウンティング・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 繁野 径子
(コード番号: 296A 東証グロース)
問合せ先 執行役員 経理部長 伊藤 淳
TEL. 03-3231-1935

当社株式（株主）の考え方について

2025年6月16日の「当社創業者から従業員への当社株式贈与に関するお知らせ」などを通じてご報告させていただいておりますが、当社は従業員全員が株主ということをポリシーの一つとしております。

その意図は、従業員という立場だけでなく、場合によっては相反する立場にある経営者（株主）の立場からも何が合理的なのかを考えてもらい、会社の成長に資する判断力を従業員全員が持つことにより会社成長に少なからず貢献するはずであるというものです。さらに、そのような能力は当社事業の中心とも言えるコンサルティングにも活かされるものと考えております。人的資本投資のひとつとも言えます。

この考え方に基づく当社の株主構成の変遷、今後の方針について改めてお知らせいたします。

1. IPO 前の株式（株主）の状況

当社は2024年12月23日に上場いたしました。それに先立ち2020年には当社業務に長年にわたり貢献してくれた役員及び従業員他40名弱に対して当時64%(最も少ない人で10万株)を第三者割当増資により保有していただいております。また、2021年にはやはり第三者割当増資により当社クライアント9社に当社株式(当時計750万株)を保有していただきました。(以下、役員及び従業員、クライアント株主をあわせて「当初株主」という。)

その結果、その時点で当社創業者であり前代表取締役の須貝信氏は持株比率を28.8%まで減少させております。

2. IPO 後の株式（株主）の状況と今後の方針

① 創業者による株式無償贈与（2025年6月16日適時開示参照）

従業員全員が株主というポリシーのもと、創業者須貝信氏が、当社株式をまだ保有していない従業員270名に対して、2025年6月30日に当社株式を一人当たり1,400株ずつ（計378,000株）無償贈与いたしました。これにより現時点で従業員全員が株主という目標はほぼ達成いたしました。

② 自社株買いについて（2025年6月2日及び2025年7月23日適時開示参照）

当初株主の皆様には、180日間のロックアップに応じていただいておりますが、2025年6月20日にロックアップ期間が満了するにあたり、市場において同時に株式売却が行われ、他の株主の皆様にご迷惑をお掛けしてしまうことが懸念されました。そのような懸念を払拭するために、売却を検討している当初株主の方々が居るならば、当社が自社株買いを実施することにより、市場に悪影響を与えることを避けることといたしました。ただし2025年6月2日開催の取締役会決議に基づき実施した自社株買いでは、一時は売却を検討していた当初株主の多くが結果として売却しないこととなったため、想定された自社株買いの株式数を下回る結果(計597,000株、うち当初株主分569,500株)となりました。

また、来年度以降、新入社員に提供するための原資としてそのうち97,000株を保有し500,000株は消却する予定としていることもすでにご報告した通りです。

なお、創業者の須貝信氏は当初より売却は考えておらず更なる当社の成長を期待し株主共同の利益を追求する方針です。2025年7月の自社株買いに応じていますが、来年度以降新入社員に提供するための原資とすることと端数調整程度を目的とした売却にすぎません。別途お知らせしている一般財団法人令和実務研究所が公益財団法人へ移行した後は、ご自身の相続を想定しつつ安定株主施策のひとつとして保有する株式の寄付を予定しております。

以上